

忘れかけた方言

史料提供 木立郷土史クラブ

(元会員 林 寅喜)

昔から日常の会話として広く使われていた方言も、戦後はテレビの普及と教育の進歩に連れて標準語化され、最近では一部の言葉以外、耳にすることはなくなった。

方言は訛なまりと共に、その地方の歴史を知る唯一の手掛かりと言われているが、近年は使われなくなった方言に、殊更愛着の念を抱くのも老人ゆえの性かと考えている。

木立郷土クラブ（今は休講中）では、失われつつある方言を掘り起こし、記録に残しておこうという発想から、これに取り組み『十年の歩み基礎資料集』の中に纏めておいた。その語数は実に三四三もある。そこで、今回特を選んで一三三語だけ紹介したが、中には忘れていた方言も多々あると思う。しかし、これらはすべて郷土の先人たちが残した貴重な言葉の財産として、何時までも記憶に残しておきたいものである。

以下、五十音に従って掲載した。意味合いに間違いがあつたら御勘弁を。

あ行

- ・あいすらう 機嫌を取りながら騙しおだてる
- ・あけどり 蜻蛉（とんぼ）
- ・あじろしい 要領よく手際がよい
- ・あど 踵（かかと）
- ・あばかん 入りきれない
- ・あばくる だんだんと広がる
- ・あばれちよる 甘えて怠ける
- ・あやす 生き物を落とす
- ・あんげらふうたん ボーツとしている

い行

- ・いげんばる 威張る 偉そうにする
- ・いね いんだ 帰れ 帰った
- ・いびくる いじり廻す
- ・いみる 増える・増殖する
- ・いやごと 愚痴っぽく 理屈っぽい

・いやらしい

いやな 嫌いな (人)

・いら

鱗 (うろこ)

・いらんてご

よけいな手出し

う行

・うたちい

雨に濡れて気持ちが悪い

・うつり

お返しの品物

・うどまかす

ぶつ飛ばす 暴走する

・うまろしい

手際がよい

・うわぐる

上端

え行

・えだ

腕 (えだが痛む)

・えば

蜘蛛の糸と石工の呼び方
(エバさん)

お行

・おおだましい

大袈裟な 大仰な

・おきせん

不倫の恋人

・おこつる

ふだける おごり騒ぐ

・おじやみ

お手玉

・おせ

大人

・おせらしい

大人びた (ませた子ども)

・おちよくる

調子に乗る

・おらぶ

叫ぶ

か行

・かげべら

日陰の所

・かまげ

かます (薬製品)

・かまや

炊事場 台所

・がまる

からかう

・かやす

倒す

・かるい

背板

・かんぐる

頭に物を乗せる

・かんげる

頭で受ける

・がんねの

よろけ者 弱い者

かなわん者

き行

・ギックリ

しゃっくり

・きびしよ

急須

・きびる
くくる 結ぶ
・ぎり
つむじ
・きりごみ者
綺麗好きの人

く行

・草が入る
過労でばてる 夏バテ
・くじゅうくる
不平不満を繰り返す
・くぜ
選外品
・くそかんげ
かぶと虫
・くたわく
ふて寝
・くぶけ
薬製品の入れ物
・くりゆうくてん
てんで さつぱり
・ぐろ
端っこ

け行

・げーな
強情つ張り
・けそけそ
動作に落ち着きがない
・けたくそ
齟齬そごで不愉快
・けちゆうら
つり上がり者 調子者
・けんたいに
当然 当たり前のように

こ行

・こいさし
煙草入れ
・こごうら
声が高い 大声
・こがつほ
下肥をためておく壺
・こしらえる
よそ行きの装い
・こすがいい
力か強く体格が良い
・こつつん牛
雄牛
・ことうた
こたえた 損をした
・こぶんな
無理を言うな

さ行

・さかしい
元気が 達者か
・さたけねえ
荒々しい
・さど
特に女性に向かって言う言葉
いたどり
・ざを飼う
牛馬を飼う

し行

・しねくされ
ひねくれ者
・しら真剣
一所懸命

・しれ馬鹿
好色男 色気の好きな男
・しんきねえ
情けない 頭ずつない

す行

・すくれる
手足が疲れて痛む
・すつとろく
嘘つぱち
・すつとんかわ
何にもならない
・すもつくれん
役にも立たない
つまらないこと
無意味なこと

・すらぼう
仕事につかずブラブラしている者

せ行

・せせろしい
やかましい 騒々しい
・せつく
催促する
・せつちよる
混んでいる
・せびる
欲しがる
・せらう
妬む 羨ましがる
・せる
後から押す

そ行

・ソーラ
たわし
・そくたう
修理する 修繕する
・そぶく
しびく
・そんげねえ
そっけない 愛想悪い

た行

・だいろ
女郎蜘蛛
・だやましい
だるさに痛みを伴う状態

ち行

・ちびつと
少し
・ちゅうろくてん
うわの空
・ちよん盥
洗面用小桶

つ行

・つうたん
無駄口（を叩く）
・つくなむ
しゃがみ込む
・つめる
遅くまで働く 仕事をする
・つれのうて
手を取り合って

て行

・てんごう

手だし

・てんばさく

おしゃべり

と行

・とつぼくれ

ほら吹き

・とぶ とびごく

走る 徒競走

な行

・なずきさがり

いやしんぼ

・なゆる

当惑する 迷惑する

に行

・につちゆうな

不器用な

ぬ行

・ぬりい

遅い 湯加減が悪い時にも

ね行

・ねぶる

なめる

・ねんごくせえ

生意気な

は行

・ばくど

蛙(かえる)

・はげらしい

腹が立って仕方がない

・はばしい

無鉄砲

・はりこむ

精を出す 金品をはずむ

ひ行

・びつたれ

無精者

・人をかり込む

人を巻き込む 仲間に抱き込む

ふ行

・ぶく

ねんねこ

・ふくたむ

うずくまる

へ行

・へたくた

いろいろ

・へんちよこ

変わり者

・弁ちやら

口先が達者

ほ行

・ほうやく

口から出まかせ

・ぼくと

急に 突然いわれても

・ほげ

湯気が立つ

・ほそ

藪っそ

・ほそけ

役立たずのおろか者

・ホヤ

電球

ま行

・まずう まずえ

元通りにする 元に戻せ

・まてえ

とろい のろい

む行

・むつきり言う

ずけずけ物を言う

《語尾の特色》

・『ちよる』 来ちよる 寄ちよる 待ちよる 知ちよる 行ちよる 出ちよる など

・『ちよれ』 寄ちよれ 待ちよれ 行ちよれ 出ちよれ など

・『ちよく』 寄ちよく 待ちよく 行ちよく 出ちよく など

・『しい』 はげらしい めんどらしい いやらしい おおだましい あじろしい などが

木立に伝わる方言の「語尾の特色」と言えよう。

・むどなきい

可哀そう

・むどらしい

可愛らしい 愛らしい

め行

・めえす

お世辞 おべっか

・めんどらしい

はずかしい

や行

・やおいかん

まんざらでもない

わりとうまくやる

ゆ行

・ゆをかう

里芋や馬鈴薯の畝に土入れする

よ行

・よしゃく

愛嬌 愛想